

まちの話 だい

10月13日 | 秋の味覚をおやつに

六合幼稚園の年長児27人が、清々しい秋晴れの下、東町の畑でイモ掘りを体験しました。

収穫したのは6月に園児たちが植え付け、大きく育ったサツマイモ。友達が掘り当てたイモを見ると、他の子たちも次は自分の番だと一生懸命に土を掘り起こしていました。収穫したサツマイモは、食育を兼ねて、ふかし芋や焼き芋にして年少・年中児たちと共に味わいました。



10月24日 | 僕のまちが見えたよ

富士山静岡空港で「空から島田市を見てみよう」が開催され、市民など78人がチャーター機に搭乗し、約2,300m上空からの眺めを楽しみました。

初めて飛行機に乗る子どもの参加も多く、搭乗前から夢中でシャッターを切る姿が見られました。離陸後は、機長の案内を聞きながら、席から身を乗り出して窓越しに見える大井川や島田市の街並を確かめ合っていました。



トピックス

「牧之原公園」日本夜景遺産認定

金谷コミュニティ委員会の皆さんが「第11回日本夜景遺産」に認定された牧之原公園の認定証授与式（神戸/10月9日）の報告のため、市長のもとを訪れました。

同会は、住民から募ったアイデアで、金谷地区の地域振興を図る活動を進めています。今回の認定申請もその一環で、宮崎友理子さん（金谷栄町）の発案で実現しました。今後は、夜景を魅力的な観光資源「愛のモニュメント」として市内外に発信し、交流人口の拡大を目指していきます。





10月20日 | トライを決める喜び

島田第一小学校で、静岡高校ラグビー部現監督を講師に、タックルの代わりに腰のリボンを取り合う「タグラグビー教室」が行われました。

児童たちに、誰もが楽しめて運動量が多いタグラグビーを体験してもらうことが目的。5年生たちは、初めて触れるラグビーボールの扱いに戸惑いながらも、グラウンドを駆け巡り、協力し合ってパスやトライを決めていました。

10月10日 | 力を合わせて方向転換

10日・11日の2日間、金谷駅前通・新金谷駅・千頭駅（川根本町）を会場に「SLフェスタ2015」が開催されました。

オープニングには「きかんしゃトーマス号」も登場。転車台手回し体験やSLとの綱引きなど、鉄道の魅力と触れ合うイベントが人気を集め、会場や沿線は多くの家族連れや鉄道ファンでにぎわいました。



10月20日 | 地域の伝統を受け継ぐ

島田帯祭保存会による「お祭り講座」が、島田第四小学校で開催されました。

島田大祭を来年に控え、地域の伝統・文化への理解を深めてもらうため、保存会メンバーが講師となって実施されました。子どもたちは、大祭の歴史を学んだ後、実際に大名行列で使用されている「大鳥毛」や「台傘」などに触れ、その大きさや重さに目を丸くしていました。